

第1回松原市子ども・子育て会議

議事録

開催日時	令和元年5月30日（木） 午後6時00分～午後8時00分
開催場所	松原市役所 大会議室B
出席者 （委員）	会長 渡邊委員 副会長 中西委員 委員 一瀬委員、吉住委員、菊井委員、田崎委員、中瀬委員、市橋委員、土田委員
欠席者	中山委員
事務局	松原市福祉部子ども未来室
議題	（1）松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査の結果報告（資料2） （2）第2期松原市子ども・子育て支援事業計画策定の手順について （資料3、4） （3）第2期松原市子ども・子育て支援事業計画策定のスケジュールについて （資料5） （4）その他
資料	<p><配付資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 松原市子ども・子育て会議委員名簿 ・資料2 松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果の概要 ・資料3 第2期松原市子ども・子育て支援事業計画策定の手順 ・資料4 子ども・子育て支援事業計画の動向 ・資料5 第2期松原市子ども・子育て支援事業計画策定のスケジュール <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果報告 ・松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果報告書（概要版） ・松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査結果報告書 <p style="text-align: right;">（自由記述・その他意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方（改訂版）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	事務局 あいさつ
各委員	自己紹介
事務局	それでは松原市子ども子育て会議条例第5条第1項により、会長が議長を務めるとされておりますので、渡邊会長に以後の進行をお願いしたいと存じます。会長、よろしく申し上げます。
会長	会長 あいさつ それでは早速ですが、議題（1）松原市子ども子育て支援に関するニーズ等の調査の結果報告について事務局の方からご説明いただけますでしょうか
事務局	議題（1）松原市子ども子育て支援に関するニーズ等の調査の結果報告について説明
会長	最初に説明していただいたように、前回、5年間の計画を立てる場合にアンケートを実施し、それに基づいてこの5年やってきました。今回、これからの5年をどうするかということについて基礎的なアンケートをしましたが、その結果について説明をしてもらいました。それをどう解釈して、これから先どのようにやっていったらいいか皆さんでこれから考えましょうということです。 ただ、数字だけ見てもいけません。数字というのはマジックです。これをずっと見ていくと横にNと書いてあります。例えば、N=800いくつと書いてある。ということは、たくさんの方が答えてくれているということです。少ないものはN=30ぐらいなっています。パーセンテージだけ見たら同じような結果に見えますが、少ない人の意見だけしか取っていないものと、たくさん取っているものとたくさんありますので、実際の皆さんの子育てや保育、教育現場などのご意見を伺って、これほんまにどう思ってるのかなとか、どんなふうを感じるのかなというのを皆さんから聞かせていただいて、これから5年間松原市どうやっていくねんということを考えていきたいと思いますというお話です。 それを考える上で、データを見て、分からなければ聞いてくださいということです。お願いします。何かたくさん説明されたけれども、分からないところはありま

事務局	<p>せんか。</p> <p>説明に補足してこちらからも説明を付け加えさせていただこうと思っております</p> <p>補足説明</p>
会長	<p>補足の説明もいただきました。どう解釈しましょうか。実感として、この数字をどのように見るかというご意見もいただきたいですし、それ以前にここをもう少し説明してほしいといったことがあれば聞いていただければと思います。いかがでしょうか。</p>
副会長	<p>単純な質問ですが、妊娠中の方からの回収が激減したのは何か理由があったのですか。</p>
事務局	<p>前はすごく調査期間が長かったので、それが回収率の低下の理由ではないかなと思います。</p>
副会長	<p>Nが29ですから、かなり少ないなど。統計として成立するのかなと思いました。</p>
会長	<p>先ほど事務局の方からも説明いただいたように、数字だけ見ると「幼稚園」という言葉はポイントが下がっていますが、幼稚園プラス預かり保育ということになると、かなり規模が違うということであったり、この5年間で松原市の幼稚園、認可保育園、認定こども園の数がどのように変わってきたかということによっても違ってくると思います。単純に数字だけ比較するのは難しいかなとも思います。日頃の実感としていかがでしょうか。松原の中では預かり保育はされているということですかね。</p>
事務局	<p>幼稚園ですか。</p>
会長	<p>はい。全員がされているよと。この数字だけでいうと、幼稚園と書いているのはいわゆる預かり保育をしていなくて、短い時間はちょっとしんどいと理解すればいいんでしょうか。</p>
事務局	<p>パートで働く方が増えているという実感はありますので、預かりを利用したいと</p>

	<p>いうお母さん方が多くなっているとは思いますが。</p>
会長	<p>それを全部受けきれないということはありませんか。</p>
事務局	<p>ありません。</p>
会長	<p>それはないということですね。</p>
副会長	<p>冊子の3ページ、母親の年齢別の就労状況を見ると、1歳からフルタイムとパート、育休で今は休んでいるが復帰される方で、そこまで全部合わせたら58%です。2歳は57.7、3歳が59.5、4歳が68.2、5歳が68。つまり、1歳、2歳、3歳は6割が保育を必要とするということです。4歳、5歳はもう7割に近づいています。まず、こういう実態があると。</p> <p>さらに5ページの平日定期的な利用の有無ですが、前回から格段に上がっているところが1歳、2歳、3歳のところで、18.6、18.7、18.8と2割弱上がっています。この年齢は幼稚園に預けられませんから、幼稚園の利用は下がってきます。ですが、幼稚園と預かり保育を使えば預けられますから、3歳になって幼稚園に就園できる年齢になったら幼稚園の入園希望も増えます。決して幼稚園の人气がなくなったというわけではないと思います。</p> <p>ひとつは1歳からパートで働くお母さんたちが6割いる。4歳になったら7割いる状態で、この受け皿があるかということです。無償化になった場合は、どこが増えるかですけど、例えば1号が増える可能性がある。</p> <p>多分、関連性があるというよりも、そういう実態があるだろうなというのは調査の結果からは読めるのではないかなと思います。だからやっぱり1歳、2歳の就園前の子どもたちの保育ニーズは上がっているでしょうし、3歳以降になるとさらに増えてくるでしょう。今、単純集計の中で出ていたように、フルタイムで働くという希望は決して減っていないということですよね。</p> <p>その他にすごく気になったのは11ページです。病気の時、就学児童を仕方なく子どもだけで留守番させたという回答が11.8%あります。その辺に対してどのようなケアができるのかなと。</p>
副会長	<p>先ほど補足で説明されましたが、例えば1ページでは、1歳、2歳が増えていますよね。そうすると、アンケートに回答した方々は、その辺について危機感を感じているのではないかと思います。例えば、小規模保育施設や家庭的保育事業、事業所といったところは割合としては少ないですが微増しています。入れない場合はそ</p>

	<p>こに行かなければいけないとか、0歳、1歳、2歳の保育施設としてそういう制度があるということは把握されていて、無償化のほうになったら利用しますかというところでも、小規模保育事業や家庭的保育事業とか、そういうところが1割以上は出てきていますよね。受け皿としてまだ余裕があるのかとか、例えば、松原市には小規模保育事業というのはどれぐらいあるんですか。</p>
事務局	<p>小規模保育事業はございません。</p>
副会長	<p>でも、制度を知っているから書いておられるわけですね。では0歳、1歳、2歳で保育所や認定子ども園に入れなかった場合はどうなるのでしょうか。</p>
事務局	<p>松原市では昨年度、年間通して待機児童0となりました。特にここじゃないと嫌だという人以外はすべて年度内に入ることができましたので、昨年度に限ってはその心配はなかったかなと思います。</p>
副会長	<p>それは何よりだと思います。</p>
会長	<p>ただ、11ページの自由記述には「誰もが希望すれば保育園に入れる環境にしてほしい」が18件ありますし、なかなかすべての人が入れるようにするには難しいところだとは思いますが。</p> <p>今、副会長おっしゃっていただいたようなニーズがかなりあると思います。実際、5年前に比べて働いている人がたくさんおられますし、保育の内容、教育の内容ということについても関心があって、どういう場所を選んでいくかということも含めて考えておられる姿が想像できるかなとは思いますが。</p> <p>ひとつは定期的な受け皿としての場所と、病児保育や緊急時、休日の利用場所についてのニーズも結構あるんだろうなとは思いますが。その辺りで、周りのお母さん方やご自身も含めて今の受け入れ状況についてお感じになられることは何かありますか。</p>
委員	<p>確かに0から1歳、2歳、3歳ぐらいになって仕事に復帰されるお母さん方の中には、希望の園に入れたいと言われる方はたくさんいらっしゃいます。兄弟を一緒に園に入れたいという意見もよく聞きます。ただ、現状すべての子を待機させないためには、希望をすべて聞くというのは難しいのかなと私自身も感じると思いますね。</p>

委員	<p>幼稚園の預かり保育についてですが、私の子どもが通っている四つ葉幼稚園はフルタイムでも預けられるぐらい預かり保育が充実しているんですが、市内の他の幼稚園の預かり保育は長期休みはやっておらず、パートで働いたとしてもすぐに辞めないといけないという状況です。預かり保育は園によってかなり使い勝手が違います。</p> <p>四つ葉幼稚園に通える地域は限られていて、実感としては、フルタイムでも預けられる幼稚園の預かりが増えたらもっと選択肢が増えて、保育所以外でも働くことができるようになると思います。</p>
会長	<p>受け入れ側企業としては、お子さんの状況で仕事が続けられないといった方はおられるのでしょうか。</p>
委員	<p>そうですね。こちらの就労条件に合った人しか来ておられなくて、お子さんが小さい方は少ないという状況です。うちの嫁さんも以前は働いていたんですが、子どもが小さい時は長く預かってもらえるところを選んで預けていたと思います。</p>
会長	<p>うちの孫が手足口病になった時は、両親とも働いているので助けてくれと言われました。どないしようかと。誰もいないなら広島から親戚呼ぼうかという話になっていました。そういう状況になっているということです。</p> <p>アンケートの把握という意味では、それ以上に追加のご質問やご意見はございませんか。預かり保育は園によって期間などに差があるということです。</p>
委員	<p>0、1、2歳の就労の希望、保育の希望が多くて、働いておられる方がどのように預けるかということもありますが、最近は0歳、1歳で育休を取ってうちで育児をされている方が誰かに頼ることができずに子育てに悩んでいるという状況が見受けられます。保育園に預けられている方は保育園に来ている間、お仕事されたり自分の時間がありますが、在宅で子育てをされている方はそれができません。特に育休を取って家で1年、2年と育児されていた方が入園された時に、育児ノイローゼでしたと言われる方もいます。ご本人の認識としてはそこまでないかもしれませんが、子どもへの対応を見るとお母さんがかなり苦勞されたんだと思われる方が非常に増えてきています。</p> <p>一時預かりも、リフレッシュのためにといても園の方もいつでもどうぞというわけにはいかない状況ですし、結局、子どもを預けたとしても慣れていない保育園に行くことで体調を崩してしまうということもあります。在宅で子育てをされている方が、子どもと離れて過ごせるように少し預けられるようなところがあったらいい</p>

	<p>いと思います。</p> <p>また、希望の保育園に入れないという状況がありますが、それは保育園が固まっている地域と非常に遠くから来ないといけない地域があって、通える距離に保育施設がなかなかないということもあるのかなと思います。保育施設がない地域も結構たくさんあります。狭い市ではありますが、絶対に車じゃないと来られない距離から来られているというようなこともあるのかなと思います。</p>
会長	<p>レスパイトが必要だということですね。</p>
委員	<p>確かに保育が多くなってきています。特に時間外や土日が多くて、支援センターだけでは預かることができない子どもたちを預かることが多くあります。毎週日曜日ずっと予約されている方もいらっしゃいます。お仕事の関係でどうしても普通の園では無理な方もおられると思いますので、できるところが支援しなくてはと思っています。時間外といっても働き方が多様で、遅い時間帯8時とか9時とかもあるので、うちもできる限りサポートさせてもらっています。</p> <p>お母さんたちからは、保育所は通ったんですが断りましたと聞くことが多くあります。遠いとか、時間的に勤めるのは無理だということで、なかなかマッチングは難しいと思います。その隙間を応援できたらなとは思っています。</p> <p>そこは私たちがどうにかしなければならぬ部分だと思うんですが、そういう背景があるというのは自然と出てくるのかなとは思っているので、今後、検討したり見直したりしていかなければならないかなと思います。</p>
委員	<p>単純な質問で申し訳ないんですが、やんちゃまファミリーwith さんで子どもさんを土日に預かっておられるということは、やんちゃまさんは、施設のくくりとして子育て支援センターなのか、それとも小規模保育施設なのでしょうか。</p>
事務局	<p>子育て支援センターの地域支援事業で一時預かりができます。子育て支援センターのひとつの地域支援事業として一時預かりもしていただいています。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>補足で事務局から説明させていただきます。資料2の10ページ、子育てが楽しいと感じる人が増えてきているというのはありがたい結果だと思っています。0、1、2歳の通っている施設が増えているというのも、子育て支援センターが増えているという結果が出ています。松原市は大阪府で指折りの支援センターの数を持つ</p>

<p>会長</p>	<p>ている市で、在宅で保育をしている方に向けて地域で集える場を用意しています。</p> <p>先ほど委員から入所前に子育てにつらい思いをしておられる方もいるというお話がありましたが、それに対してもやんちゃまさんがしておられる子育て支援センターを含めて、市としても力を注いでいるというのが現状です。</p> <p>つらい思いをしているお母さんは、預けたら解決するというだけでもないと思います。子どもと離れるのもさみしいし、離れていたら不安だし、でも見ているしんどいというような、その辺の揺れの部分を分かってくれるとか、手伝ってくれる感じでないと、ただ、それを解決するために預かりますという方向だけではお母さん方のニーズに応えることにはならないのかなということを感じます。</p> <p>それでは議題（２）に進みます。（２）第２期松原市子ども・子育て支援事業計画策定の手順についてということで事務局の方からご説明いただきますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>（２）第２期松原市子ども・子育て支援事業計画策定の手順について説明</p>
<p>会長</p>	<p>最初のほうはこのニーズ調査によってどんな手続きを踏んで、実際のところこれから先の量が決まっていきますよという説明と、後半は、この資料によって方針が変わってきている部分の話をしてもらいました。</p> <p>私のほうからは、副会長からもご質問があったような、妊婦さんの29という数で策定できるものはあるんですかと。29を母数にしたものによって決められる量であったりとか、そういう種類の操作はあるんですか。もしあるとしたら、それでいいのかということです。</p>
<p>事務局</p>	<p>妊婦さんの調査については、市の独自調査です。これは補正するための数字だと思っておりますので、母数は少ないですが、その数値を補正するための評価として使えと認識して、前回からも調査させていただいているということです。</p>
<p>会長</p>	<p>29/200のアンケート結果で、この結果だから考えてよと言ったら、みんな言ってるよというのと同じレベルで、統計的に耐えうるかといったらちょっと難しいように思います。自由記述と同じように意見として利用されるのはいいですが、これに基づいて算定しましたとなると、ちょっと危険だなと思います。おっしゃったように補正する材料として使うだけならばいいのですが。もしくは母数を増やす操作を何かするかということになると思います。</p> <p>今、手順などについてご説明いただきましたが、何か確認しておきたいことはあ</p>

委員	<p>りませんか。</p> <p>無償化になった時、1号の子どもの預かりを利用する場合、就労しているという条件の基準が、保育を必要とするかしないかで分けられるのでしょうか。例えば、週に2回働いています。ちょっと時間が延びるので、預かり保育を利用しますという子どもがいた場合、それは対象にならないということですか。保育を必要とするかしないか、就労しているか、していないか、どちらがポイントになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>国においては、通常の2号認定を受けるお子さんと同等の基準で幼稚園が使われていて、預かり保育を使うという方は、保育が必要という基準は、2号認定、保育の認定を取られている方と同等のものという指針が出ております。そういうかたちで進めていくことになるかなと思います。</p> <p>今回、無償化の流れの中で、幼児教育の部分と保育の部分の無償化を進めると。幼稚園に行かれています方であっても、今、子どもさんが使える資源の中で、保育が必要なお子さんも幼稚園が使われていると。その中で、預かり保育を使っているお子さんについて、その分は保育と同等だということになりますので、その分の預かり保育の無償化が進められると聞いています。</p>
委員	<p>例えば、市によって基準が違いますよね。松原市はすごく基準が高いような気がするんです、バランスはどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>それについては、国において各市の状況を踏まえて保育の必要時間を設定させていただいています。今回、無償化があるから動かすんだというようなかたちではなく、その時の状況に応じて決めていくかたちにはなるかなと思います。</p>
委員	<p>そういうふうに保護者には説明するということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。松原市は、保育が必要なお子さんについては月の就労時間はこれくらいというものを示させていただいています。</p>
委員	<p>これはやっぱり各市によって違うということですか。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>

委員	<p>違うんですか。4つの市から来ているんですけど、認定がバラバラであると。</p>
会長	<p>資料4の8ページ、2. 自治体間の調整とあって、(1) 広域利用の調整、私立幼稚園の運営状況等を円滑に把握することができるよう、都道府県は、市町村に必要な支援を行うこと、とあります。市だけで決めるというのはなかなか難しいということになるのかなと思います。その地域で何か調整してよという話に。</p>
事務局	<p>府からはまだ何も降りてきていませんか。まだですか。</p>
事務局	<p>府からは何も来ていません。まだ府において無償化も含めて、この計画を立てることについても説明会が開かれていない状況です。</p>
会長	<p>ほかに何かございますか。よろしいですか。こういう手順で、こういう数字の処理をして決めていきますよという部分のお話で、その指針としては、今説明をいただいたようなかたちで、分かっている部分となかなかはっきり分からない部分もありますので、それを今年度、流れなり報告があって、決められて以降、進めていきたいと思いますということになるのかなと思います。</p> <p>それでは3番目にいきます。(3) 第2期松原市子ども子育て支援事業計画策定のスケジュールについてということで、事務局の方からご説明いただきますでしょうか。</p>
会長	<p>(3) 第2期松原市子ども子育て支援事業計画策定のスケジュールについて説明</p> <p>これから1月までの間に最低4回集まるという話で、ご都合をつけてということですが、また、ニーズ調査によってこんな量になっていきますねという報告をいただくことになると思います。お時間があれば読んでいただいて、ここ変やんかとか、これ気になるわとかということがあれば、また次に持ってきてください。それで出た量と、それから量も現場に合わせて、実情に合わせて補正を掛けるという話ですから、その話について皆さんの印象、感想、実感で結構ですので、ご意見をちょうだいできればと思います。</p> <p>スケジュールが少しタイトですので、また調整をさせていただいて決めていくことになるかと思いますが、よろしく願いいたします。</p> <p>(4) その他について何かありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは長時間にわたりましたが、これをもちまして1回目の会議を終了ということでよろしいでしょうか。全般にわたって何かご意見がありましたらお願いしま</p>

事務局	<p>す。しゃべりすぎやということがあれば言っていたら結構です。よろしいでしょうか。それではお疲れ様でした。どうもありがとうございました。</p> <p>会長、ありがとうございました。またいろいろなご意見をいただきましてありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第1回松原市子ども・子育て会議を閉会いたします。皆さま、長い時間ありがとうございました。次回子ども・子育て会議につきましては、7月に開催したいと考えています。追ってご連絡いたします。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは第1回松原市子ども・子育て会議を終了したいと思います。本日はお忙しい中、長時間にわたりどうもありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>
-----	--